# フォレスト質問書概要 2018

CDP事務局

2018/4月

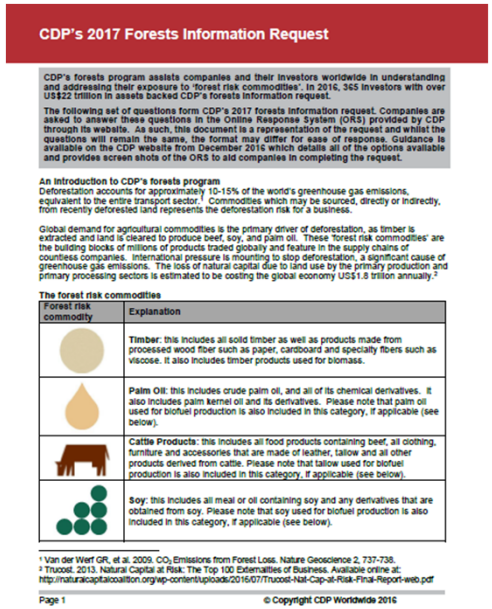


CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION

# フォレスト質問書2018

2018年CDPフォレスト質問書について

- 企業のバリューチェーンにおけるコモディティ（商品）に起因する森林破壊を排除するためのガイダンス;
- 森林破壊に関するリスクの理解促進;
- 外部のステークホルダー（投資家、サプライチェーン、顧客など）と企業との効果的なエンゲージメントの促進;
- 企業にとって、活動の確認とより優れた実践を可能にする。



**CDP's 2017 Forests Information Request**

CDP's forests program assists companies and their investors worldwide in understanding and addressing their exposure to 'forest risk commodities'. In 2016, 365 investors with over US$22 trillion in assets backed CDP's forests information request.

The following set of questions form CDP's 2017 forests information request. Companies are asked to answer these questions in the Online Response System (ORS) provided by CDP through its website. As such, this document is a representation of the request and whilst the questions will remain the same, the format may differ for ease of response. Guidance is available on the CDP website from December 2016 which details all of the options available and provides screen shots of the ORS to aid companies in completing the request.

**An introduction to CDP's forests program**

Deforestation accounts for approximately 10-15% of the world's greenhouse gas emissions, equivalent to the entire transport sector.[1] Commodities which may be sourced, directly or indirectly, from recently deforested land represents the deforestation risk for a business.

Global demand for agricultural commodities is the primary driver of deforestation, as timber is extracted and land is cleared to produce beef, soy, and palm oil. These 'forest risk commodities' are the building blocks of millions of products traded globally and feature in the supply chains of countless companies. International pressure is mounting to stop deforestation, a significant cause of greenhouse gas emissions. The loss of natural capital due to land use by the primary production and primary processing sectors is estimated to be costing the global economy US$1.8 trillion annually.[2]

**The forest risk commodities**

| Forest risk commodity | Explanation |
|---|---|
| | **Timber**: this includes all solid timber as well as products made from processed wood fiber such as paper, cardboard and specialty fibers such as viscose. It also includes timber products used for biomass. |
| | **Palm Oil**: this includes crude palm oil, and all of its chemical derivatives. It also includes palm kernel oil and its derivatives. Please note that palm oil used for biofuel production is also included in this category, if applicable (see below). |
| | **Cattle Products**: this includes all food products containing beef, all clothing, furniture and accessories that are made of leather, tallow and all other products derived from cattle. Please note that tallow used for biofuel production is also included in this category, if applicable (see below). |
| | **Soy**: this includes all meal or oil containing soy and any derivatives that are obtained from soy. Please note that soy used for biofuel production is also included in this category, if applicable (see below). |

[1] Van der Werf GR, et al. 2009. $CO_2$ Emissions from Forest Loss. Nature Geoscience 2, 737-738.
[2] Trucost. 2013. Natural Capital at Risk: The Top 100 Externalities of Business. Available online at: http://naturalcapitalcoalition.org/wp-content/uploads/2016/07/Trucost-Nat-Cap-at-Risk-Final-Report-web.pdf

Page 1 © Copyright CDP Worldwide 2016



CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

# 対象コモディティー（木材、大豆、パーム油、牛製品、ゴム）

*Photo credits: Wood market in Cameroon - Ollivier Girard, CIFOR; Jukwa Village & Palm Oil Production - Ghana oneVillage Initiative; Cattle in Colombia's eastern plains - Neil Palmer, CIAT; Soy bean at Carimagua, in Colombia's eastern plains - Neil Palmer, CIAT*

**自社の事業に関連したコモディティのみ回答**



CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION

# セクター質問

| クラスター | 気候変動 | 水 | 森林 |
|---|---|---|---|
| エネルギー | 電力事業<br>石炭<br>石油・ガス | 電力事業<br>石油・ガス | |
| 輸送 | 輸送機器製造<br>輸送サービス | | |
| 素材 | セメント<br>鉄鋼<br>金属・鉱業<br>化学 | 金属・鉱業<br>化学 | 2019年<br>金属・鉱業が追加予定 |
| 農業 | 食品・飲料・タバコ<br>農産品<br>製紙・林業 | 食品・飲料・タバコ | 製紙・林業 |
| 一般 | セクター別質問書に該当しない全ての企業 | セクター別質問書に該当しない全ての企業 | セクター別質問書に該当しない全ての企業 |

2018年は製紙・林業のみセクター質問書あり

2019年は金属・鉱業セクター質問書を追加予定



CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION

# 署名投資家数/質問書送付企業数

- 2018年フォレストプログラムに署名の投資家は656、運用資産総額はおよそ87兆USドル。
- 国内の送付対象企業は2017年のおよそ110社⇒150社へ拡大。
- 昨年はグローバルで211社、国内で34社が回答提出

**650+** investors

representing **US$87 trillion** in assets are signatories to CDP's forests program to understand corporate management of the risks associated with deforestation.



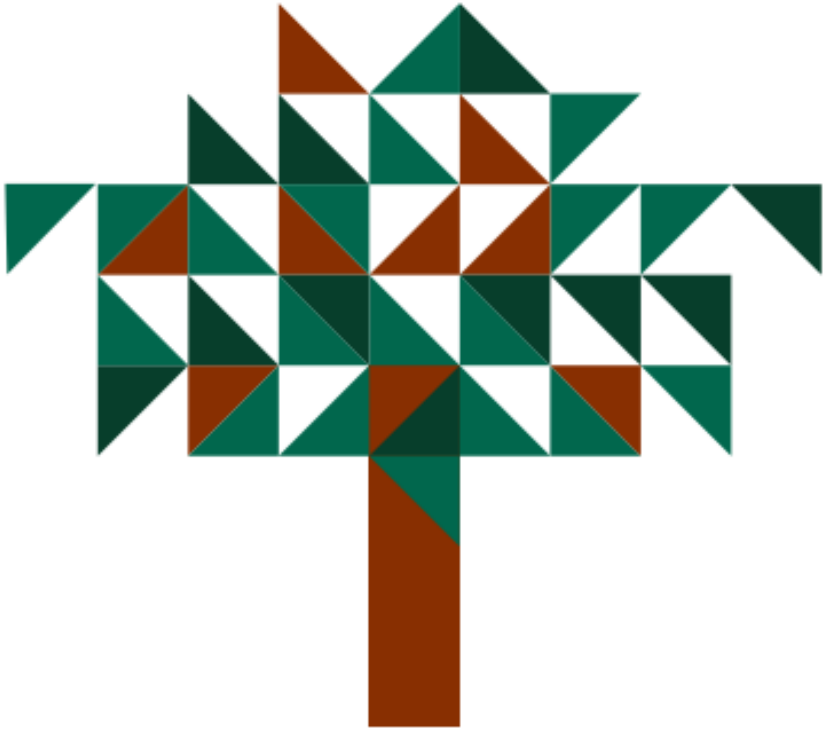
CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

## なぜ投資家は森林破壊に注目するのか?

- 世界のGHG排出量の15%が森林破壊からもたらされる。
- 世界的な森林破壊防止の活動を通じて、2030年までに年間1,000億米ドルの節約が見込める。
- 2017年、上場企業の売上高の9,410億米ドル以上が、森林リスク商品に依存している。
（2016年は、9,060億ドル）

投資家は、受託者責任を果たすためにも、コモディティー調達によって引き起こされる森林破壊や、それに対する企業の取り組みがポートフォリオの価値に及ぼす影響を注視しています。

# 2018 フォレスト質問書





CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION

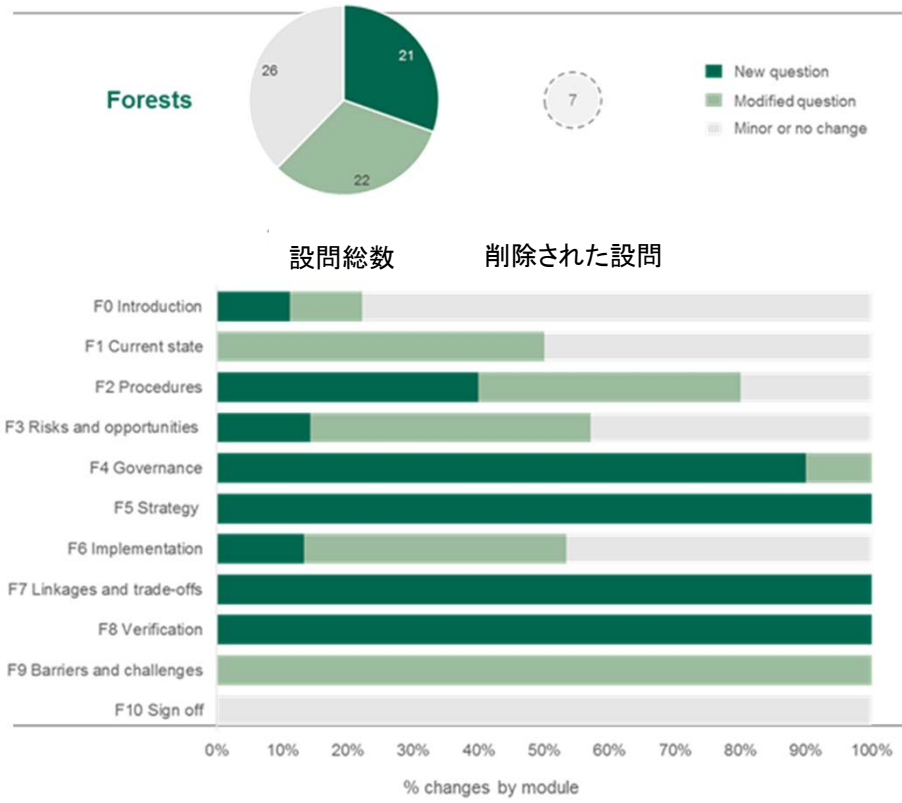
# 質問書の構成(2017 vs 2018)

| 2017 MODULES | 2018 MODULES |
|---|---|
| F0. イントロダクション | **F0** イントロダクション |
| F1. 背景 | **F1** 現状 |
| F2. リスク評価 | **F2** リスク評価 |
| F3. リスク | **F3** リスクと機会 |
| F4. 機会 | **F4** ガバナンス |
| F5. 測定 | **F5** 事業戦略（新） |
| F6. トレーサビリティ | **F6** 対応 |
| F7. ガバナンスと成長戦略 | **F7** リンケージとトレードオフ（新） |
| F8. 方針 | **F8** 検証（新） |
| F9. 基準と目標 | **F9** 障害・課題 |
| F10. 協働 | **F10** サインオフ |
| F11. 障害・課題 | |
| F12. サインオフ | |



CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

# 質問書の構成(2017 vs 2018)




◥2017年からの変更

削除・・7

新設・・21

変更・・22

微修正・・26

# F0 イントロダクション/Introduction

| 2018 MODULES |
| --- |
| **F0** イントロダクション |
| **F1** 現状 |
| **F2** リスク評価 |
| **F3** リスクと機会 |
| **F4** ガバナンス |
| **F5** 事業戦略 |
| **F6** 対応 |
| **F7** リンケージとトレードオフ |
| **F8** 検証 |
| **F9** 障害と課題 |
| **F10** サインオフ |

**内容:**

- 組織の説明、報告年度、報告のバウンダリ
- 通貨
- 関連する森林リスク商品（木材、大豆、牛製品、パーム油、ゴム）

**Aリスト取得には、スコア、レピュテーションチェックをクリアすることの他、以下の要件を満たす必要があります。**

- 関連する事業、サプライチェーンのすべてのデータを回答し、重要なバウンダリの除外がない(F0.6a, F0.7a);
- すべての事業、サプライチェーンでリスク評価を実施(F2.1/F2.1a);
- 2020までにすべての事業、サプライチェーンにおける“森林破壊ゼロ”宣言を実施 (F6.1b or F4.1b)

# F1 現状/Current Status

| 2018 MODULES |
| --- |
| F0 イントロダクション |
| F1 現状 |
| F2 リスク評価 |
| F3 リスクと機会 |
| F4 ガバナンス |
| F5 事業戦略 |
| F6 対応 |
| F7 リンケージとトレードオフ |
| F8 検証 |
| F9 障害と課題 |
| F10 サインオフ |

**F1【現状】モジュールは3つのセクションで構成。**

- **依存性**: コモディティ依存の程度（量、収益）と地理的データ
- **測定**: 土地資源の管理（モニタリングシステム）、データ収集; コモディティ供給の継続性
- **有害な影響**: 森林関連の問題やその対応に伴う財務影響

# F1 現状/Current Status

依存性:

F1.1　どのように選択したコモディティを生産、使用、販売していますか？

ここでは下記のような項目に回答いただきます。

- ✓ 利用しているコモディティ　＞＞　木材、パーム、牛製品、大豆、ゴム
  直接的/間接的の使用について回答。（例）動物飼料に使用される大豆など
- ✓ コモディティに関する事業活動　＞＞コモディティの生産、輸出入、製品製造への投入、など
- ✓ コモディティの形態　＞＞例えば木材ならパルプ、チップ、など
- ✓ 調達先　＞＞生産農家、サプライヤー（メーカー）、など
- ✓ 原産地　＞＞国名から選択
- ✓ 調達コストの割合

# F1 現状/Current Status

**測定**:

F1.5　選択したコモディティの生産データや消費データを収集していますか？

収集している場合、F1.5aで詳細を回答

“収集しているが回答しない”または“収集していない”場合には、F1.5b、1.5cで回答しない理由、収集しない理由を回答

F1.6　現在の事業にとって持続可能で十分なコモディティ調達先がありますか？ あるとした場合、この供給の安全性/継続性を保証するために何をしていますか？

- サプライチェーンマッピング
- サプライヤーの多様化
- サプライヤーの能力向上計画
- バリューチェーンにおける能力構築活動に取り組む
- その他

# F1 現状/Current Status

**有害な影響**:

F1.7　御社事業についてフォレスト関連の悪影響がありましたか？

Yesの場合、1.7aで詳細を回答

- ✓ コモディティ
- ✓ 主な要因の特定
- ✓ 影響の詳細
- ✓ 主な対応
- ✓ 財務影響

# F2 リスク評価/Procedure

| 2018 MODULES |
| --- |
| F0 イントロダクション |
| F1 現状 |
| F2 リスク評価 |
| F3 リスクと機会 |
| F4 ガバナンス |
| F5 事業戦略 |
| F6 対応 |
| F7 リンケージとトレードオフ |
| F8 検証 |
| F9 障害と課題 |
| F10 サインオフ |

◥森林関連のリスクを特定し評価するための手順に関する情報を回答

F2.1　御社では森林関連のリスク評価を実施していますか？

Yesの場合、2.1a、2.1b、2.1cで詳細を回答

F2.1a　評価方法の詳細を選択（カバレージ、評価実施の頻度、など）

F2.1b　リスク評価で考慮される対象（品質？気候変動影響？など）

F2.1c　リスク評価の対象となるステークホルダー(新)

Noの場合、2.1dでリスク評価のない背景を回答

# F3 リスクと機会/Risks and opportunities

| 2018 MODULES |
| --- |
| F0 イントロダクション |
| F1 現状 |
| F2 リスク評価 |
| F3 リスクと機会 |
| F4 ガバナンス |
| F5 事業戦略 |
| F6 対応 |
| F7 リンケージとトレードオフ |
| F8 検証 |
| F9 障害と課題 |
| F10 サインオフ |

## F3.1　事業に財務的または戦略的影響を及ぼす可能性がある、森林関連リスクがありますか？

- ✓ はい、直接操業とバリューチェーンの双方でリスクがあります。
- ✓ はい、直接操業のみでリスクあります。
- ✓ はい、直接操業を除く、バリューチェーンのみでリスクがあります
- ✓ いいえ、リスクはありません

Yesの場合、3.1a/3.1bで詳細を回答

Noの場合、3.1cでなぜリスクがないと考えるかを回答

# F3 リスクと機会/Risks and opportunities

F3.1がYesの場合

F3.1a　御社では事業への影響をどう定義していますか？（新）

⇒記述式回答

例えば売り上げ1%の増減がどの程度のインパクトを持つのかは、企業ごとに異なります。リスクの詳細を続く設問で回答するにあたり、影響の閾値を説明することで、データユーザーは御社のリスク・機会をより適切に理解することが可能です。

期待される回答

| | 情報開示 | 認識 | マネジメント | リーダーシップ |
|---|---|---|---|---|
| 3.1a | 回答記入 | 回答記入 | - 財務または戦略的影響の定義<br>- 変化を特定するための手段、測定基準、または指標<br>- 変化を示す手段、基準、指標の閾値または変化量<br>- この定義は直接事業、サプライチェーン、またはその両方に適用されるか | 配点なし |

# F3 リスクと機会/ Risks and opportunities

F3.1がYesの場合

## F3.1b　リスク、およびリスクへの対応の詳細

- ✓ リスクタイプ（規制、物理的、評判と市場、技術）
- ✓ 地理的規模
- ✓ リスク要因の発生源（直接操業？バリューチェーン？）
- ✓ リスクの主要因
- ✓ 企業に特化した詳細
- ✓ 影響
- ✓ 影響の度合い
- ✓ タイムフレーム
- ✓ 発生可能性
- ✓ 財務影響
- ✓ 財務影響の説明
- ✓ 主なリスク対応
- ✓ 対応の詳細
- ✓ リスク対応にかかる費用　など

| | 情報開示 | 認識 | マネジメント | リーダーシップ |
|---|---|---|---|---|
| 3.1b | 特定項目への回答 | 特定項目への回答 | 「企業に特化した詳細」欄に、特定された影響が、直接的事業にどう影響するかを記載<br><br>「対応の詳細」欄に<br>対応を導入するためのタイムフレーム<br>対応から期待される変化の説明（リスク要因の防止、施設・全社レベルのレジリエンスの向上、将来の財務的・戦略的リスク回避など）を記載 | 「財務影響の説明」の欄に<br>- 財務影響の計算方法<br>- 数値を計算するためにどのような方法論が採用されたか<br>- 数値の前提<br>- 財務的影響の可能性のあるタイムスケール<br><br>「回答費用説明」へ以下の回答<br>「回答費用」数字を推計する方法の詳細と、またこの費用発生が単発であるか。<br><br>（数値がない場合は、相対的な数値の提示や、定性的な見積りを記載） |

期待される回答

# F4:ガバナンス/Governance

| 2018 MODULES |
| --- |
| F0 イントロダクション |
| F1 現状 |
| F2 リスク評価 |
| F3 リスクと機会 |
| F4 ガバナンス |
| F5 事業戦略 |
| F6 対応 |
| F7 リンケージとトレードオフ |
| F8 検証 |
| F9 障害と課題 |
| F10 サインオフ |

- F4モジュールは4つのセクションで構成。
  - 方針:全体およびコモディティーを特定した方針（ハイレベル方針）
  - 取締役レベルの監督
  - 経営陣の責任
  - 従業員に対するインセンティブ

# F4 ガバナンス/Governance

**方針**:

F4.1 森林に関する方針がありますか？

Yesの場合、4.1a/4.1bで詳細を回答

F4.1a 方針のカバレージ（全社？特定の事業？など）、内容を回答（新）

F4.1b コモディティに特化したサスティナビリティ方針の有無

**取締役レベルの監督（新）**:

F4.2 森林関連事項について取締役レベルの監督の有無

Yesの場合は4.2a、4.2bで詳細を、Noの場合は4.2cで監督がない理由を回答

# F5: 事業戦略/Business strategy（新）

| 2018 MODULES |
| --- |
| F0 イントロダクション |
| F1 現状 |
| F2 リスク評価 |
| F3 リスクと機会 |
| F4 ガバナンス |
| F5 事業戦略 |
| F6 対応 |
| F7 リンケージとトレードオフ |
| F8 検証 |
| F9 障害と課題 |
| F10 サインオフ |

◥森林関連の事項の中長期戦略的事業計画（5~30年）への統合について回答

- 事業目標
- 目標を達成するための戦略
- 中長期的な財務計画

# F5 事業戦略/ Business strategy（新）

F5.1森林関連の問題が、中長期事業戦略計画で考慮されていますか？
また、どのように考慮されていますか？（新）

| 事業戦略のタイプ | 森林関連事項の考慮の有無 | タイムフレーム | 詳細 |
|---|---|---|---|
| 中長期事業目標 | ● はい、考慮されています。<br>● いいえ、森林関連の問題はレビューされてはいるが、戦略的に関連性がある、もしくは重要であるとは見なされません。<br>● いいえ、森林関連の問題はレビューされていませんが、今後2年以内に実施予定<br>● いいえ、森林関連の問題はレビューされておらず、今後の予定もありません。 | ● 5-10<br>● 11-15<br>● 16-20<br>● 21-30<br>● >30 | 記述 |
| 中長期目標の達成戦略 | | | |
| 財務計画 | | | |

# F6: 対応/Implementation

| 2018 MODULES |
| --- |
| F0 イントロダクション |
| F1 現状 |
| F2 リスク評価 |
| F3 リスクと機会 |
| F4 ガバナンス |
| F5 事業戦略 |
| F6 対応 |
| F7 リンケージとトレードオフ |
| F8 検証 |
| F9 障害と課題 |
| F10 サインオフ |

**F6【対応】モジュールは5つのセクションで構成**

- **コミットメント**
- **ターゲット**
- **トレーサビリティ: トレーサビリティシステムの詳細**
- **認証および持続可能性の基準:**
- **エンゲージメント:中小企業、サプライヤー、その他の活動及びイニシアティブ**

# F6 対応/Implementation

## ➢ コミットメント

F6.1　御社は森林破壊や森林劣化を御社事業やサプライチェーンから削減または排除する公約を掲げていますか？

Yesの場合F6.1a、6.1bで詳細を回答

F6.1a　参画するイニシアティブの選択（新）

- New York Declaration on Forests
- Tropical Forest Alliance 2020
- We Mean Business
- その他

F6.1b　公約の詳細

- ✓ 対象コモディティ
- ✓ 公約のタイプ
- ✓ カバレージ（直接操業？サプライチェーン？特定の設備？など）
- ✓ コミットメントの対象となる生産・消費の割合
- ✓ タイムフレーム　など

# F6 対応/Implementation

## ➢ ターゲット

F6.2　報告年度において回答コモディティーについて持続可能な生産および/または消費を増加させるための定量目標がありましたか？

Yesの場合F6.2aで詳細を回答

Noの場合F6.2bで目標がなかった理由を回答（新）

F6.2a　目標の詳細と進捗

- ✓ 対象コモディティ
- ✓ コモディティの形態
- ✓ 目標の種類
- ✓ 対象範囲
- ✓ 外部認証スキーム
- ✓ 基準年
- ✓ 基準値
- ✓ 目標年
- ✓ 目標※
- ✓ 進捗（%）
- ✓ 詳細

※コモディティーの目標となる生産量、消費量(%)



CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

# F6 対応/Implementation

## ➢ エンゲージメント

F6.6　森林破壊/森林劣化を削減、または除去するためにの中小規模企業のベストプラクティスを奨励・支援するなどの協働を行っていますか？

F6.7　一次サプライヤーの持続可能な原材料の供給能力をサポート、改善するための協働を行っていますか？

F6.8　森林関連のリスクを管理し軽減するために、二次以下サプライヤーとの協働を行っていますか？

F6.9　コモディティの持続可能性に向けた取り組みを促進するために、外部のイニシアチブや活動に参加していますか？（その他との協働）

# F7 リンケージとトレードオフ/Linkages and trade-offs（新）

F7.1　御社は直轄事業やバリューチェーンにおいて、森林と他の環境問題との間に何らかのつながりやトレードオフを特定していますか？

Yesの場合F7.1aで詳細を回答

- ✓ Linkage（連携）か Trade-offか？
- ✓ Linkage/Trade-offのタイプ※右表
- ✓ 詳細の説明
- ✓ 方針や活動

Noの場合F7.1bで特定されなかった背景を回答

<u>リンケージのタイプ</u>

- Decreased GHGs emissions
- Increased carbon sequestration
- Disaster risk reduction
- Soil conservation
- Improved water supply
- Increased water quality
- Water flow regulation
- Other linkage, please specify

<u>トレードオフのタイプ</u>

- Increased GHGs emissions
- Reduced water supply
- Reduced water quality
- Reduced groundwater recharge
- Soil degradation
- Other tradeoff, please specify

# F8 検証/Verification（新）

F8.1　CDPへ報告する森林関連情報について、外部検証を行っていますか？

以下より選択

- ✓ はい、行っています。
- ✓ 現在検証実施中です。
- ✓ いいえ、しかし2年以内の実施を検討中です。
- ✓ いいえ、検証基準やプロセスのさらなる整備を待っています。
- ✓ いいえ、予定もありません。

8.1がYesの場合、F8.1aで詳細を回答

- ✓ 検証したデータ
- ✓ 検証基準



CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION

# F9 障害と課題/Barriers and challenges

| 2018 MODULES |
| --- |
| F0 イントロダクション |
| F1 現状 |
| F2 リスク評価 |
| F3 リスクと機会 |
| F4 ガバナンス |
| F5 事業戦略 |
| F6 対応 |
| F7 リンケージとトレードオフ |
| F8 検証 |
| F9 障害と課題 |
| F10 サインオフ |

## F9.1　直轄事業やバリューチェーンで森林関連のリスクを回避するにあたっての主な障害や課題について回答

障害・課題のタイプ

- サプライチェーンの複雑さ
- 認証資材の利用可能性の制限
- 認証資材へのアクセスの制限
- 一般の意識や市場の需要が限定的
- 認証基準の不存在、または未成熟な認証基準
- 認証要件のコスト・複雑さ
- 持続可能な生産/認証製品のコスト
- 限定的なサプライチェーンエンゲージメント
- その他

## F9.2　組織の森林関連リスクの管理能力を向上させるための方法

- データの収集とその質の向上
- 透明性の向上
- サプライヤーの意識向上/関与の強化
- より高い顧客意識
- 認承製品の需要の増加
- より大きなステークホルダーエンゲージメントと協働
- 森林伐採/劣化に関する知識の向上

# F10 サインオフ/ Sign off

| 2018 MODULES |
| --- |
| F0 イントロダクション |
| F1 現状 |
| F2 リスク評価 |
| F3 リスクと機会 |
| F4 ガバナンス |
| F5 事業戦略 |
| F6 対応 |
| F7 リンケージとトレードオフ |
| F8 検証 |
| F9 障害と課題 |
| F10 サインオフ |

## F10.1　文書を署名した人の役職と対応する職種を回答

- 個人名の回答は不要、役職名を回答ください。

## その他:

◥企業に特化した（Company-specific）回答が求められる場合
同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、自社の具体的な活動・製品／サービスについて記載してください。

◥回答で「該当なし」や「不明」を選択する場合、できるだけコメント欄に“なぜそうであるか”の背景をご回答ください。

◥ 2018年度、初めてフォレストでジャパンレポートを発行予定です。

ご清聴ありがとうございました。



CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION